

# P新人賞2016

## 最終選考上演会は間もなく!

パペット【puppet】のP、パフォーマンス【performance】のPに由来する「P新人賞」は、人形劇、あるいは物(オブジェ)と身体パフォーマンスの新しい可能性を拓く作品に贈られます。また、最終選考が上演から審査まで一般公開の形式で行われるのも特徴。2月に行われるP新人賞2016最終選考上演会を前に、上演団体からメッセージが届きました!

### P新人賞2016最終選考上演会

2月25日(土) 18:30・26日(日) 13:30  
前売2100円 当日2400円  
全席自由

P新人賞  
2015受賞

人形劇団望ノ社  
(栃木県)  
「DEBRIS」



### 小さな劇場屋さん(福岡県)

『ぶらぶら人形ものがたり』  
原案:ウラジミール・マヤコフスキー 総合演出:山田恵理香

ぶらぶら人形ものがたりは、劇作家・演出家・制作者が集まって、特撮だとか人形劇だとか、いつもの演劇とは少し違う事をやりたいね、と話している所からスタートしました。

大きな筒状の布を使って人形劇をするぞ、という事で手芸屋さんへ伸びる布を探しに抜け、主人公の人形をどんな形にするか悩み、役者さんがどう動くかどうに見えるのか繰返し試し、手探りの試行錯誤の末に出来上がりました。

俳優の身体と布さえあればどこでも出来るので、作品が福岡、熊本公演を経て名古屋で公演が出来るのをとても楽しみにしています。

entry  
01

### トランク機械シアター(北海道)

『ねじまきロボットα ~ぼくのうまれたひ~』

脚本・演出:立川佳吾

はじめまして。トランク機械シアターです。

もともと演劇をやっていたのですが、2012年に人形劇の作品を上演することに。1回で終わらせたかったのですが、公演後の子どもたちの約束から、続けていく団体になりました。作品は「ねじまきロボットα」のシリーズ作品。その中でも今回は、一番最初の冒険物語です。2015年に上演したシリーズの原点ともいえるこの作品が、名古屋で上演することができてとても嬉しいです。

皆さんに楽しんでいただけるよう、しっかり作って向かいます。よろしくお願いします。

entry  
02

### 影の色彩ワンププロジェクト(石川県)

『夜叉ヶ池』

原作:泉鏡花 構成・演出:影の色彩ワンププロジェクト

私達「影の色彩ワンププロジェクト」は、インドネシア・ジャワの伝統的影絵人形芝居ワヤンをベースに、インスタレーション、映像、演劇、音楽といった複数の表現が融合した舞台作品を制作しています。ジャワ語と日本語、インドネシアの音階と西洋の音階、映像と演技など、異なる要素が互いに交じり合いながらも共存していく中で、「夜叉ヶ池」の世界が言語や文化の違いを超えて新たなエネルギーを生む瞬間を、ご来場くださる皆様にお届けできるよう、メンバー一同総力戦にて取り組みます。何卒よろしくお願い致します。

entry  
03



高山春祭  
4月14日・15日  
日枝神社

中部日本の山車と  
からくり人形



犬山祭  
4月第1土・日  
針綱神社

### ユネスコの無形文化遺産に登録

2016年12月1日に発表された日本全国の「山・鉾・屋台」行事33件のユネスコ無形文化遺産登録決定というニュースは、政治経済が最近暗めの日本にとって明るい話題となりました。「山・鉾・屋台」とは要するに祭りに曳き出される「山車」のことで、地域により呼び方が違います。北は青森県の八戸三社大祭に始まり南は大部分の日田祇園にわたる33行事には、愛知県の犬山祭、知立の山車文楽とからくり、亀崎潮干祭、尾張津島天王祭、須成祭(蟹江町)の5件も含まれています。中でも津島天王祭と須成祭は山車ではなく船の上に檣を立てて人形を飾る変わった形式のものです。

「山・鉾・屋台」行事とは、山車の上で演じられる芸能や、儀式、衣装、美術諸々に優れた祭りそのものを指すわけで、八戸三社大祭では山車上に人形を飾った豪華な展示が特色、川越氷川祭では各町山車上でのお囃子の競演が有名です。人形が生きた人間のように演技して観衆を楽しませるからくり人形が載る山車は高山祭の屋台が有名ですが、実はその多くが愛知県、岐阜県、富山県など中部日本に多く分布しているのです。特に愛知県はけた外れに人形の数が多くことで、からくり人形の宝庫と言われています。犬山祭、知立祭、亀崎潮干祭のユネスコ無形文化遺産登録を機に、愛知県下の人々に身近な山車、からくり人形の見どころを4回連載でご紹介します。

NPO法人ミネルバ名古屋代表 千田靖子

#### からくり人形

機関、機械、絡線と書いてからくりと読む。つまり機械じかけの(ように見える)人形。座敷からくり人形はゼンマイを巻いて動くものが多く、山車からくり人形は複雑に仕掛けた糸を引いたり、差し金で突き上げたりして人形遣いが操作する。江戸時代に始まり座敷からくり人形は趣味人に、山車からくり人形は庶民に現代も愛され続けている。

#### 山車(だし)

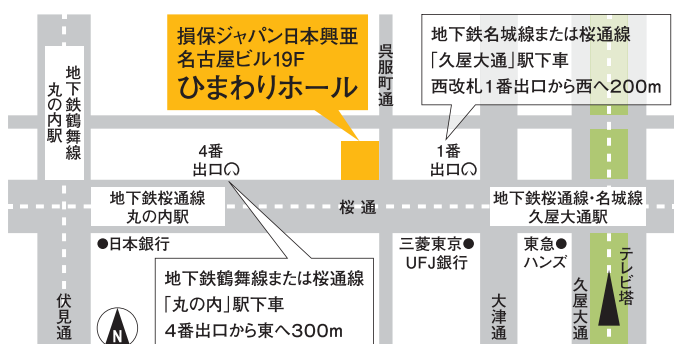
昔の人は祭礼の時、神の地上への降臨を願い、樹木や美しく飾った柱、花笠、人形などを立てて神が天から降りて来てとどまる依り代(よりしろ)としたという。また神は神聖な山に降臨されるとも考えられたので、祭礼のための臨時の置山が作られた。それに車輪をつけて移動させるようになったのが山車である。地域を巡行することで神のご利益を多くの住民にもたらす役目がある。

#### からくり人形の載る山車が見られる祭り(春)

\*...からくり人形の載る山車数/山車数

| 祭りの名称  | 日程(4月まで分)   | 場 所                | 人形の演技      | *     |
|--------|-------------|--------------------|------------|-------|
| 乙川祭    | 3月第3土・日     | 半田市乙川 乙川八幡社        | 乱杭渡り、面被り   | 2/4   |
| 犬山祭    | 4月第1土・日     | 犬山市犬山 針綱神社         | 逆立ち、綾渡ほか   | 13/13 |
| 岩倉桜まつり | 4月第1土・日     | 岩倉市中本町広場、五条川べり     | 逆立ち、大車輪他   | 3/3   |
| 美濃祭    | 4月第2土・日     | 美濃市上条 八幡神社         | 魚釣り、変身ほか   | 6/6   |
| 高山春祭   | 4月14、15日    | 高山市神明町 日枝神社        | 三番叟、電神、獅子舞 | 3/12  |
| 知多岡田祭  | 4月16日に近い土・日 | 知多市岡田 神明社、白山社      | 綾渡ほか       | 3/3   |
| 古川祭    | 4月19、20日    | 飛騨市吉城郡古川町 気多若宮神社   | 福祿寿と唐子ほか   | 3/9   |
| 久田見まつり | 4月第3土・日     | 加茂郡八百津町久田見 神明・白髭神社 | 創作からくり人形   | 6/6   |

※上記以外にもあり。 お問い合わせはsenday@ams.odn.ne.jp 千田まで



特定非営利活動法人

### 愛知人形劇センター

〒460-8551 名古屋市中区丸の内3-22-21

損保ジャパン日本興亜名古屋ビル8F

TEL 052-212-7229 FAX 052-212-7309

http://aichi-puppet.net/ MAIL:mail@aichi-puppet.net

愛知人形劇センター  
ひまわりホール情報誌

通巻299 2017年冬号  
発行:特定非営利活動法人 愛知人形劇センター  
発行人:木村繁  
編集人:たかはしいちげん  
デザイン:江利山浩二(KINGS ROAD)  
編集:小島祐未子(家鴨の蔵集舎)

©愛知人形劇センター ※本誌記事・写真・レイアウトの転載を禁じます。

Aichi  
Puppetry  
Center  
あぶ

ひまわりホールから  
発信する  
シアター情報誌

「人類と人形の旅」は永遠



|                                                                    |                                          |                           |                              |                                                         |
|--------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|---------------------------|------------------------------|---------------------------------------------------------|
| ①                                                                  | ②                                        | ③                         | ④                            | ⑤                                                       |
| ① genre「Gray」『顔のモノ語り』(演出:西村洋一、人形・衣装・舞台美術:松沢晋代、人形遣い:黒谷都、チェロ演奏:坂本弘道) | ② オブジェクトパフォーマンスシアター『薄暮夢』(演出:木村繁、美術:福永朝子) | ③ 星の女子さん『わらの骨』(作・演出:遠山博義) | ④ banko『月がきこえる』(演出・出演:banko) | ⑤ 人形劇団望ノ社『宇宙カバー〜Space Hippo〜』(脚本:Daniel Wishes、演出:矢内世里) |

2017 WINTER  
VOL. 299  
http://aichi-puppet.net/